



笑働OSAKA  
シヨウドウ オオサカ



thanks  
&  
smile

協働から笑働へ。笑顔あふれる大阪をめざす、笑働OSAKAの取り組みのひとつである、笑働OSAKAリサイクルプロジェクトをご紹介します。“モノの再生から大阪の再生”を実現するしくみの紹介と古紙回収及びリサイクルされた地域活動支援型商品等の販売を行ないます。

オフィシャルサイト

<http://www.shoudo-osaka.org/>

facebookページ

<http://www.facebook.com/shoudo.osaka>

twitter

[http://twitter.com/shoudo\\_osaka](http://twitter.com/shoudo_osaka)

笑働OSAKAは、新しい循環型社会づくりを目指して、  
“RECYCLE PROJECT”をスタートさせました。



## RECYCLE PROJECT

モノの再生から目指す、大阪の再生へ。  
生み出すチカラが、大阪を元気にする。



生活と密接した、循環をつくる。

付加価値ではなく

一過性のものでなく

強要されるものではなく



楽しくて  
おもしろい

わかりやすく  
参加しやすい

参加している  
実感が持てる

日常にしっかり根付かすためのシステムづくり。

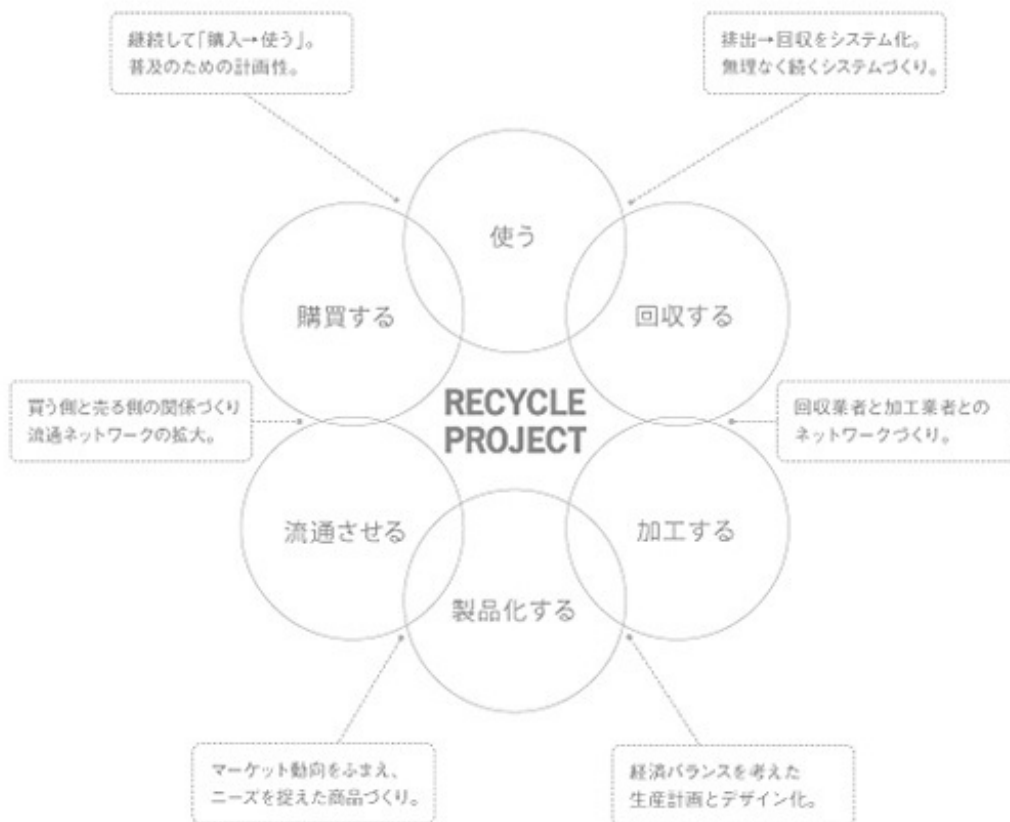
大阪全域に浸透していくプロジェクトにする。

大阪発信の新しい文化として



“つながる社会の実現”を目指します。

循環システム | リサイクルされた商品を購入頂くことで、再生の循環が生まれます。



リサイクルされた商品を購入頂くことで、再生の循環が生まれます。

リサイクルされた商品は、笑働OSAKA RECYCLE PROJECTブランドとしてさまざまな企業や事業所、または店舗、インターネット等で販売します。

商品の売り上げの一部は、地域活動の資金に還元されます。

笑働の輪を広げましょう。

---



笑働の輪を広げましょう。

笑働OSAKA RECYCLE PROJECTは、「生活と密着したあたりまえの循環をつくる」というコンセプトで活動します。みなさんのご協力のもと大阪全域を巻き込んだプロジェクトにしたいと考えています。“つながる社会の実現”を目指して、ぜひ力を合わせて“笑働の輪”を広げてください。

笑働OSAKA RECYCLE PROJECTで商品化された、「トイレットペーパー」「リサイクルノート」が東急ハンズ梅田店で販売されました。

協働企業

大阪紙業株式会社

株式会社リバーズ

ナカバヤシ株式会社

## できました！“OSAKA ROLL”

---



笑働OSAKA リサイクルプロジェクトから、再生トイレットペーパー”OSAKA ROLL（オーサカ・ロール）”が誕生しました。若い人から、ご年配の方まで、幅広い層に親しんでいただけるよう、優しくてシンプルなデザインになりました。  
今後は、たくさんの方々のお手元にお届けできるよう、販売のしくみづくりを進めていきます。

古紙の回収：[大阪紙業株式会社](#)  
トイレットペーパー製造：[株式会社リバース](#)

収益の一部は、地域支援活動のサポート基金に還元されます。  
皆さんと共に、大阪全域へ広がって行くプロジェクトにしたいと考えています。  
ぜひ、ご協力ください。

## 八尾市志紀町に ”笑働リサイクル・ボックス”



色鮮やかな笑働ブルーとスマイルマークの古紙回収リサイクルボックス。大阪紙業さんの協働によって設営していただきました。笑働OSAKA リサイクルプロジェクトから生まれる、"[OSAKA ROLL](#)"や"[リサイクルノート](#)"は大阪紙業株式会社さんが回収した古紙を再生して製品化しています。

現在は、大阪市内の企業や事業所を中心に、コピー用紙などの回収を行い、リサイクルしていますが、一般のご家庭にも、幅広くリサイクルプロジェクトを案内し、ぜひ、参加していただきたいという想いから、設営することになりました。



今後は、さらに、みなさんのもとへ、製品がお届けできるように、流通や販売の計画も進行中です。「生活に密着した、より良い循環型社会を目指して」。



リサイクルボックスの場所はこちら。

[大阪府八尾市志紀町南3-57](#)

ご近所にお住まいの方は、是非、古紙の回収にご協力ください。

## 笑働リサイクルノート



トイレットペーパーに続き「笑働OSAKA RECYCLE PROJECT」から生まれたオリジナル商品“リサイクルノート”。

大阪府下のさまざまな事業所から排出された使用済みコピー用紙などをリサイクルし、ノートとして再生させていく笑働OSAKAの新たな取り組みです。

ビジネスで使った紙が、ノートとして生まれ変わって、またビジネスに使われていくという、循環型のシステムを展開していきます。

古紙の回収は大阪紙業株式会社さん、リサイクルノートの製造はナカバヤシ株式会社さんが、それぞれ協働して製品化することができました。

誰にでも使えて、飽きのこないデザインの“リサイクルノート”は、3冊セットで693円。収益の一部は地域活動支援に活用していきます。





## 泉州タオルで笑働タオル

---

創業明治40年の老舗タオルメーカー、神藤タオル株式会社さんのご協力によって「笑働タオル」ができました。



ご存知でしたか？日本のタオル産業発祥の地は大阪泉州なのです。120年もの歴史と伝統に育まれた技術で、職人さんが腕によりをかけてつくり出す「泉州タオル」。  
タオルに使う綿糸は織りやすくするためにノリやロウなどで強さを増し、すべりをよくします。そのため織りあがったままのタオル地は水をはじき、吸水性の悪いものです。泉州タオルは、織ったあとで“さらし”の工程、いわゆる“後さらし”を行なうため、吸収性がよくて、肌触りもよいのが特徴です。

都市整備部をはじめ、府内の職員みんなで購入しました。  
クールビズの真っ只中、「笑働タオル」で汗を拭いて乗り切っています。



## 水都大阪フェス2011の会場でブース出展しました

---

「水都大阪フェス2011」、チャレンジウィーク期間の10月22日(土)、23日(日)、「笑働OSAKAリサイクルプロジェクト」のブース出展、地域支援型グッズ販売と、「水辺のかえっこバザール」に防災リーダーとして、笑働スタッフが参加しました。

水都大阪フェス2011は、「水辺のまちあそび～やってみたいを叶えよう～」と題し、50以上のプログラムが同時進行で行われ、行政はもちろん、運営をサポートするサポーター、コンテンツの企画提案をしてくれる様々な活動団体など、多くの人たちが関ってつくりあげるイベントです。今回、地域や企業との協働を幅広い層の方々に知っていただこうと、笑働OSAKAも参加することになりました。



## 「リサイクルの見える化」へのチャレンジ

今回は、「リサイクルの見える化」へのチャレンジとして、リサイクル・プロジェクトを出展し、笑働事務局のスタッフだけでなく、参画企業の皆さんにもご協力いただきました。企画に賛同し、古紙持参でブースを訪ねてくれた企業も多数あり、古紙を出す⇒回収する⇒加工する⇒製品化する⇒購買する、といういずれの過程に参加していただいても、地域活動支援となる仕組みづくりを実践していく予定です。



笑働ブースでは、カエルキャラバンのサポータースタッフの皆さんが、笑働軍手を続々ご購入くださり、スタッフTシャツのブルーと軍手の黄色が、まるでユニホームのようで芝生広場に映えました。行動力のある若い人たちの力と、それが周囲を巻き込んで、より大きな力を生むということ。このサポーターさんたちの笑顔とパワーは、今後、笑働OSAKAの活動を続けていく中で、必要不可欠なものだと感じさせられました。



## 笑働OSAKA | リサイクルプロジェクト

<http://p.booklog.jp/book/39441>

著者 : kanotetsuya

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/kanotetsuya/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/39441>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/39441>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社paperboy&co.